

200940019B

厚生労働科学研究費補助金

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

平成19年度～21年度 総合研究報告書

研究代表者 三浦 宜彦

平成22(2010)年 5月

目 次

I. 総合研究報告

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究…………… 1

三浦宜彦

(資料1) インフルエンザワクチン接種状況調査の調査票…………… 7

(資料2) 医療機関調査の解析Ⅰ —ワクチン接種の現況—…………… 27

渡辺由美

(資料3) 医療機関調査の解析Ⅱ —需要予測—…………… 65

延原弘章

(資料4) 住民調査によるワクチン需要予測…………… 97

大日康史

II. 研究成果の刊行に関する一覧表…………… 122

III. 研究成果の刊行物・別刷…………… 123

総合研究報告書

インフルエンザワクチン需要予測に関する研究

研究代表者 三浦 宜彦 埼玉県立大学 教授

研究要旨 インフルエンザワクチン接種の実態を把握し、今後のインフルエンザワクチンの需要を予測することを目的として、医療機関を対象としたインフルエンザワクチン接種状況調査および住民に対する接種意向調査を実施し、ワクチンの接種状況を把握すると共に、需要予測を継続的に行ってきた。その結果、平成 12 年度の接種率は 7.3%と低いものであったが、その後は平成 18 年度を除き一貫して年々上昇しており、平成 20 年度の接種率は 37.1%にまで上昇した。また、ワクチン接種率は世代間格差が大きく、21 年度で 1 歳未満 6.8%、1 歳以上 6 歳未満 54.7%、6 歳以上 13 歳未満 39.9%、13 歳以上 65 歳未満 24.1%、65 歳以上 51.3%であった。需要予測については、医療機関調査によるものでは、20 年度のワクチン需要本数は約 2318 万本から約 2402 万本、21 年度は約 2570 万本から約 2645 万本、22 年度は約 2230 万本から約 2261 万本と推計された。住民調査からは、20 年度は約 2,054 万本から約 2,237 万本、21 年度は約 2,429 万本から約 2,648 万本、22 年度は約 2,587 万本から約 2,755 万本と推計された。

分担研究者

渡辺由美 高崎健康福祉大学 教授
延原弘章 高崎健康福祉大学 教授
大日康史 国立感染症研究所 主任研究官

A. 研究目的

インフルエンザの流行は年次変動が大きい上に、平成 6 年度の予防接種法の改正を機にインフルエンザワクチンの接種が任意接種となったことにより、近年、インフルエンザワクチンの

需要の予測は困難を極めている。さらに、13 年度には予防接種法改正による高齢者（65 歳以上）へのインフルエンザワクチンの勧奨接種が実施され、インフルエンザワクチンの需要を的確に把握することが求められている。本研究は、この要請にもとづき、インフルエンザワクチンの需要量の推計方法を確立することを目的として、インフルエンザワクチン接種の現況を把握すると共に、インフルエンザワクチンの需要予測を試みた。

B. 研究方法

下記に示す2種の調査を実施して、インフルエンザワクチン接種の現況を推定すると共に、次年度の需要量についての予測を行った。

1. 医療機関等におけるインフルエンザワクチンの接種状況調査：医療機関等に対し、シーズン前に協力を依頼し、シーズン終了後に調査票の回収を行った。

19年度の調査は、(社)日本医薬品卸業連合会加盟の医薬品卸売業者が15年度に1本以上を供給した医療機関、老人保健施設および福祉施設(以下「医療機関等」)75,997施設の中から、20年度および21年度の調査は、同じく19年度に1本以上を供給した医療機関等82,133施設の中から、都道府県を層として無作為に調査対象施設の抽出を行った。

抽出した医療機関等の施設数は、19年度が3,952施設(抽出率5.20%)、20年度が3,419施設(抽出率4.16%)、21年度が3,364施設(抽出率4.10%)である。各年度ともこれらの医療機関等を対象として、ワクチンの購入本数、使用本数、世代、接種回数別接種状況、次年度予測接種者数を調査した。

2. 住民を対象としたインフルエンザワクチン接種意向調査：高齢者、幼児・児童、成人の3グループを対象としてインフルエンザワクチンの接種意向調査を行った。

①20年度の予測では2750世帯に送付し、2137世帯から回収を得(回収率77.7%)、6756人からの回答を得た。21年度の予測では2400世帯に送付し、1827世帯から回答を得た(回収率76.1%)。22年度の予測では、郵送とネットを併

用して全国において実施し、3750世帯10498個人から回答を得た。

②調査項目は、実際の接種の有無(有りの場合は自己負担額)、次年度のワクチン接種意向およびJoint Estimationのための設問とした。

(倫理面への配慮)

医療機関等に記入を依頼した接種状況リストには、被接種者の年齢区分、対象者区分(入院・外来の別、患者・施設入所者・医療従事者等の別)、接種方法、接種日の記入のみを求め、氏名をはじめとする個人を特定される情報の記入は求めなかった。また、インフルエンザワクチン接種意向調査においても、調査対象住民の氏名、住所等の匿名性が失われないようにした。

C. 研究結果

1. 医療機関調査

1) 回収率は、19年度から順に、1282件、1158件、1071件、回収率は32.4%、33.9%、31.8%であった。また、母数に対する回収率は、それぞれ1.69%、1.41%、1.30%であった。

2) 接種率は、19年度から順に、1歳未満が23.5%、8.8%、6.8%、1歳以上6歳未満が48.3%、65.2%、54.7%で、6歳以上13歳未満が39.2%、52.9%、39.9%、13歳以上65歳未満が23.3%、27.7%、24.1%、65歳以上が54.8%、54.7%、51.3%となっており、全年齢では32.6%、37.1%、32.6%と推定された。

3) 次年度の需要予測本数は、20年度のワクチン需要本数は約2318万本から約2402万本、21年度は約2570万本から約2645万本、22年度は約2230万本から約2261万本と推計さ

れた。

2. 住民調査

- 1) 有効回答率は、19年度は77.7%、20年度は76.1%であった。21年度はWeb調査を導入したので有効回答率の概念はない。
- 2) 接種率は、19年度から順に、幼児・児童が40.0%、58.3%、50.8%、成人26.2%、37.9%、35.6%、高齢者62.4%、62.2%、52.8%、であった。
- 3) 幼児・児童は2回接種、成人は80%が1回接種、20%が2回接種、高齢者は1回接種と仮定して、20年度は、自己負担額が高齢者で1,500円、65歳未満で1回あたり3,000円とした場合、Joint Estimationにより約2,054万本から約2,237万本と推計された。21年度は、高齢者と65歳未満での自己負担額の分布に基づいて積分を行うと、約2,429万本から約2,648万本、22年度も高齢者と65歳未満での自己負担額の分布に基づいて積分を行うと、約2,587万本から約2,755万本と推計された。

D. 考察

1. 6年の法改正により、インフルエンザ予防接種は任意接種に変わり、全国的な接種率の把握については困難な状況にあるが、継続的な調査により、全体の接種率は低いものの概ね上昇傾向にあることや世代間格差の大きいことが判明した。
2. ワクチンの使用本数は、おおよその傾向としては全体の接種者数や接種率と同様の推移を示すものの、実際の接種に際してはその時々状況に合わせて様々な工夫が行われるため、必ずしも使用量が接種の実態を反映しているわけではないことが推察された。

3. 65歳以上の高齢者についてのワクチン接種が推奨されているところであるが、近年では50%を少し超えた程度でほぼ頭打ちになっていること、1～6歳や6～13歳では比較的接種率が高いものの年による変動が大きいことなどが明らかとなったことは、今後のわが国におけるインフルエンザ対策上で重要な知見であると考えた。

4. 実際のワクチン接種の動向は、直近のインフルエンザの流行状況やそれについての情報に左右されるものであり、半年から1年程度前の状況からの確に予測することは困難である。しかしながらこれまでの接種率の推移等をみると、接種者の動向は直近の状況のみで決まるのではなく、前年度までの動向が基準となり、そこに直近の状況が加わって変化しているものと推察された。したがって、ワクチン需要の予測には、継続的なワクチン接種の状況を把握しておくことが重要であると考えた。

E. 結論

1. ワクチン接種率は、12年度以降18年度を除いておおむね上昇していたが、21年度は新型インフルエンザの影響で前年度よりも下がった。
2. 接種率には世代間で大きな格差が見られ、65歳以上と1～6歳未満が他の世代に比べて高かった。
3. 接種率の年次による変化も世代によって異なり、1～6歳および6～13歳の接種率については年ごとの変動が大きく、65歳以上の接種率は50%を超えたところでここ数年停滞していた。

4. 2回接種割合は、ここ数年はほぼ安定していたが、21年度は全体に減少がみられた。
5. 22年度のワクチンの需要予測は、2230万～2261万本であったが、新型が季節性に統合された場合、2600万～2631万本の需要が予測された。さらに、子どもの接種用量の変更が行われた場合には300万本程度の増加が見込まれ、3000万本程度になると予測された。
6. 21年度における新型インフルエンザの流行を経験したことにより、「需要本数の予測には、接種者数や接種率についての動向を経年の的に把握することが不可欠である。」ことがあらためて確認された。

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

- 1) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: 2007/08年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 健康福祉研究 5(2): 27-38, 2008
- 2) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦, 中井清人: 2008/09年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 健康福祉研究 6(1・2): 119-130, 2010
- 3) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: 2009/10年シーズンにおけるインフルエンザワクチンの需要予測. 健康福祉研究 7 (印刷中), 2010

2. 学会発表

- 1) 延原弘章, 三浦宜彦, 渡辺由美: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測6-第1報 06/07年シーズン接種状況-. 第66回日本

公衆衛生学会総会, 2007.10 (日本公衛誌 54(10):240, 2007.)

- 2) 三浦宜彦, 延原弘章, 渡辺由美: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測6-第2報 07/08年シーズン需要予測-. 第66回日本公衆衛生学会総会, 2007.10 (日本公衛誌54(10) 特別付録: 240, 2007)
- 3) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測7-第1報 07/08年シーズン接種状況-. 第67回日本公衆衛生学会総会, 2008.10 (日本公衛誌55(10) 特別付録: 232, 2008)
- 4) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測7-第2報 08/09年シーズン需要予測-. 第67回日本公衆衛生学会総会, 2008.10 (日本公衛誌55(10) 特別付録: 232, 2008)
- 5) 延原弘章, 渡辺由美, 三浦宜彦: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測8-第1報 08/09年シーズン接種状況-. 第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (日本公衛誌56(10) 特別付録: 156, 2009)
- 6) 三浦宜彦, 渡辺由美, 延原弘章: インフルエンザワクチンの接種状況と需要予測8-第2報 09/10年シーズン需要予測-. 第68回日本公衆衛生学会総会, 2009.10 (日本公衛誌56(10) 特別付録: 156, 2009)
- 7) Y.Miura¹, H.Nobuhara, Y.Watanabe: Estimate of the vaccination rate for the influenza vaccine and a prediction of the quantity demanded in Japan (First report). The Joint Scientific Meeting of the Australasian Epidemiological Association and the International Epidemiological Association Western Pacific

Region, 2007.9 (Australasian Epidemiologist 14(3):57, 2007)

- 8) H.Nobuhara, Y.Miura¹, Y.Watanabe: Estimate of the vaccination rate for the influenza vaccine and a prediction of the quantity demanded in Japan (Second report). The Joint Scientific Meeting of the Australasian Epidemiological Association and the International Epidemiological Association Western Pacific Region, 2007.9 (Australasian Epidemiologist 14(3):57, 2007)
- 9) H.Nobuhara, Y.Watanabe, Y.Miura¹: Estimation of influenza vaccination rates in Japan:Data for the 2000-01 to 2008-09 seasons: The Joint Scientific Meeting of the International Epidemiological Association Western Pacific Region and the Japan Epidemiological Association, 2010.1 (Journal of Epidemiology 20, Supplement S144, 2010)

H. 知的所有権の出願・登録状況

なし

資料 1 医療機関調査に使用した調査票（平成 21 年度版）

平成21年9月

御担当者各位

厚生労働省医薬食品局血液対策課長

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について（協力依頼）

厚生労働省では、毎年度、インフルエンザワクチン（以下「ワクチン」という。）について、その需要をよりの確に把握し、安定供給を行うために、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、需要予測のための調査・検討を行っています。また、当該検討会における調査・検討に資するよう、インフルエンザワクチン需要調査研究班において、需要予測のための調査を実施しております。

つきましては、次シーズン（平成22年度）の需要予測を行うためのデータを作成するためには、今年度のシーズン中に調査を実施する必要があることから、今シーズンも昨シーズンと同様に、医療機関、老人保健施設、老人福祉施設及び児童福祉施設等のワクチン接種施設に調査票を配布し、シーズン終了後に回収したうえで、その集計結果をもとに需要予測を行うことといたしておりますので、貴施設におかれましては、本調査の趣旨を御理解いただき、何卒御協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、都道府県等の自治体や地域医師会等より、シーズン中にワクチンに関する別の調査を依頼される場合もあるかと存じますが、それらは主に、シーズン中における在庫状況を調査するためのものであり、本調査とは趣旨が異なりますので、御承知おき願います。

平成21年9月

御担当者各位

インフルエンザワクチン需要調査研究班
研究代表者 三浦 宜彦

インフルエンザワクチン需要予測のための調査について(依頼)

インフルエンザワクチンは、ご承知のとおり、平成 6 年の予防接種法の改正でインフルエンザの予防接種が任意接種となったのを契機に、その製造量は激減いたしました。しかし、近年、インフルエンザの重症化防止として、ワクチンの効果が見直され、その需要は、特に高齢者を中心に急激に伸びております。そこで、厚生労働省では、「インフルエンザワクチン需要検討会」を設置し、インフルエンザワクチンの安定供給に努めているところです。

今般、平成 22 年度のインフルエンザシーズンの需要予測に向けて、平成 21 年度の季節性インフルエンザワクチンの使用状況を調査するために、シーズン開始時に調査票を配布し、シーズン終了後に回収・集計することを考えております。本調査の趣旨をご理解いただき、是非、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

調査にご協力いただけましたら、季節性インフルエンザワクチン使用時に、同封いたしました調査票に必要事項をご記入いただき、シーズン終了後(貴施設でのインフルエンザ予防接種終了後から 3 月 31 日まで)に同調査票をご返送いただきますようお願い申し上げます。ご返送の際には、同封の受取人払い返送用封筒をご使用ください。

なお、調査結果につきましては、集計結果のみを公表することとし、個別データの公表は一切致しませんので、ご迷惑をおかけすることはございません。

<調査スケジュール>

9 月	調査票の発送
10 月～2 月末日 (今シーズン全期間)	接種状況調査期間
3 月末日	調査票の返送期限

インフルエンザワクチン需要調査

1. 目的

次シーズン(平成 22 年度)に向けて季節性インフルエンザワクチンの需要を把握し、需要に見合う量のワクチンを出来る限り円滑に製造・供給する。

2. 調査方法

インフルエンザワクチンの接種時期前に無作為に抽出した医療機関、老人保健施設、老人福祉施設、児童福祉施設、ならびにその他の施設に調査依頼を行う。協力施設等において季節性インフルエンザワクチン接種時に調査票に必要事項を記入する。シーズン終了後にそれらの調査票を回収し、集計する。

本調査は、昨年度より引き続き同じ調査対象施設に 2 年間継続で調査を依頼する(本年度は 2 年目)。

3. 調査の位置付け

厚生労働省医薬食品局に設置された「インフルエンザワクチン需要検討会」の検討結果をもとに、研究班により実施。

4. 照会先

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820番地

埼玉県立大学保健医療福祉学部 三浦 宣彦

TEL&FAX : 048(973)4325

e-mail : kango-d@spu.ac.jp

インフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）の記入の手引き

- ◆ この手引きを参照の上、ご記入くださいますようお願い申し上げます。
- ◆ ご記入の際、ご不明な点等がございましたら、下記までお尋ねください。
- ◆ インフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）が不足した場合は、ご請求ください。

（お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。）

埼玉県立大学内 インフルエンザワクチン需要調査研究班 三浦宜彦

TEL 048-973-4325

FAX 048-973-4325

e-mail kango-d@spu.ac.jp

1. 集計方法

- ①調査票のインフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）に、直接集計結果を記入する場合
- ・接種者1人を1行に記入する方法
 - ・同日に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、1日分をまとめて1行に記入する方法
 - ・同期間に同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者がいた場合は、期間分をまとめて1行に記入する方法

☆いずれの方法で記入していただいても結構です。

②コンピュータ集計の場合

コンピュータ集計をされている施設では、調査票のインフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）に転記する手間を省くため、そのまま集計データをお送りいただいでかまいません。その場合、できれば入力例のように、必要調査項目には漏れのないようご提出ください。送っていただくデータは、Windows で読める形式であれば、媒体は FD, MO, CD-R 等、何でも結構です。

なお、e-mail でのご提出も受け付けておりますので、下記アドレスに送信してください。

e-mail : kango-d@spu.ac.jp

3～7ページの記入・入力例をご参照ください。

2. インフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）の記入方法

- 1) 接種日(期間) 接種日(期間)をご記入ください。接種日は、日付順に並べる必要はございません。
- ・ 1日の場合 : 上段に平成×年×月×日と記入する。
 - ・ 複数日の場合 : 上段に開始日を記入し、下段に終了日を記入する。
- ☆いずれの場合も、必要な項目はハッキリと記入し、不要な記述は消してください。

- 2) 年齢区分 該当する年齢区分の数字1つに○をつけてください。
- 3) 対象者区分 該当する対象者区分の数字1つに○をつけてください。
 ・ 「入院患者」とは貴施設が医療機関（病院・診療所）の場合、貴施設の入院患者をいいます。
 ・ 「施設入所者・通所者」とは、貴施設が老人保健施設、老人福祉施設等の福祉施設、その他の施設の場合、貴施設の入所者又は通所者をいいます。
 ・ 「医療従事者・施設従事者」とは、貴施設の医療機関及び施設の職員等の従事者をいいます。
 ・ 貴施設で購入したワクチンを外部施設で接種する場合、対象者区分は『5：1～4以外』となります。
- 4) 接種方法 該当する接種方式の数字1つに○をつけてください。
- 5) 人数 接種者1人を1行に記入する場合は1を、同じ条件の接種者を期間分まとめて記入する場合は、集計した人数をご記入ください。
- 6) 集計用欄 同じ条件（年齢区分・対象者区分・接種方法が同じ）の接種者を、まとめて記入される場合にご利用ください。
- 7) 頁（ページ）数 接種状況リスト右上の頁（ページ）記入欄には、記入した接種状況リストの全頁（ページ）数分の何頁（ページ）目にあたるかをご記入ください。
 ・ 記入例) 3/25頁中・・・全25ページ中3ページ目

*** インフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）が不足する場合は、ご請求ください。**

*** お手数でなければ、コピーにご記入いただいても結構です。**

【記入例1】接種者1人ずつ記入する場合

接種日(期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成21年10月5日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	/	
平成21年10月5日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	/	
平成21年10月5日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	/	

【記入例2】同じ条件の接種者をまとめて記入する場合

接種日(期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成21年10月7日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	5	正
平成21年10月19日 平成21年10月23日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	18	正正正下

【記入例3】混在した方法で記入する場合

接種日(期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成21年11月2日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	-
平成 年 月 日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	4	正
平成21年11月4日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	6	正
平成 年 月 日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	9	正
平成21年11月9日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 2: 1歳以上～6歳未満 3: 6歳以上～13歳未満 4: 13歳以上～65歳未満 5: 65歳以上	1: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 施設従事者・施設従事者 5: 1～4以外	1: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	1	-

↑

同じ期日が続く場合は〃、同上、等でも可

※注意 以下のようには記入しないようご注意ください!

接種日 (期間)	年齢区分 (該当の数字1つに○をつける)	対象者区分 (該当の数字1つに○をつける)	接種方法 (該当の数字1つに○をつける)	人数	集計用欄
平成 21年 11月 16日 平成 年 月 日	①: 1歳未満 ②: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 ⑤: 65歳以上	①: 外来患者 ②: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	①: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	5	正
平成 21年 11月 24日 平成 年 月 日	1: 1歳未満 ②: 1歳以上~6歳未満 ③: 6歳以上~13歳未満 4: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 4: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	1: 1回接種 ②: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	12	正正丁
平成 21年 12月 1日 平成 21年 12月 4日	1: 1歳未満 2: 1歳以上~6歳未満 3: 6歳以上~13歳未満 ④: 13歳以上~65歳未満 5: 65歳以上	①: 外来患者 2: 入院患者 3: 施設入所者・通所者 ④: 医療従事者・施設従事者 5: 1~4以外	①: 1回接種 2: 2回接種の1回目 3: 2回接種の2回目	16	正正正



1つの区分の欄には2つ以上の○をつけない

【コンピュータ集計の場合の入力例】 Excel を使用した場合

※ 注意 季節性インフルエンザワクチンについてのみご記入ください。また、ファイル名には、必ず貴施設名をご使用ください。

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	名称	埼玉県立大学						
2	施設の種類コード	60						
3	所在地	埼玉県越谷市三野宮820						
4	TEL	048-973-4325						
5	FAX	048-973-4325						
6	E-mail	kango-d@suu.ac.jp						
7	担当者所属部署	保健医療福祉学部						
8	担当責任者	三浦宜彦						
9								

コマンド NUM

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	21年度(本シーズン)ワクチン										
2	1ml	0.5ml									
3	準備本数	使用本数	1歳未満	1歳-6歳	6歳-13歳	13歳-65歳	65歳以上	計			
4	120	114	60	55	0	0	3	62	65	130	

年齢区分
22年度(次シーズン)ワクチン接種見込み人数

コマンド NUM

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) テータ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P)

11 MS Pゴシック

M13

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1		インフルエンザワクチン(季節性)の在庫状況									
2	昨シーズン(20年12月末現在)	本シーズン(21年12月末現在)									
3		2			1						

施設名称(ほか)質問・質問2質問3(インフルエンザワクチン接種状況リスト(季節性) / NUM

Microsoft Excel - 貴施設名.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) テータ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(P)

11 MS Pゴシック

M19

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	No.	接種日(期間)	年齢区分	対象者区分	接種方法	人数					
2	1	10/25	4	1	1	1					接種者を1人ずつ記入
3	2	10/27	3	1	2	3					同じ条件の接種者ごとに1日分まとめて集計
4	3	10/27	4	1	1	5					
5	4	10/27	4	4	1	18					同じ条件の接種者ごとに一定期間まとめて集計
6	5	11/1~12/29	3	1	1	45					
7	6	11/1~12/29	4	1	1	38					同じ条件の接種者ごとに一月分まとめて集計
8	7	11/1~12/29	5	1	1	26					
9	8	1月	3	1	1	15					
10	9	1月	4	1	1	12					
11											
12											

施設名称(ほか)質問・質問2質問3(インフルエンザワクチン接種状況リスト(季節性) / NUM

インフルエンザワクチン接種状況調査票（季節性）

名 称	
施設の種類コード (表紙裏のコード表をご参照ください)	
所在地	都 道 県 市 区 村
連絡先	電話番号
	F A X
	e-mail アドレス
担当責任者所属部署	
担当責任者名	

- ・ 1 ページの「質問 1、質問 2、質問 3」は、本調査票返送時（シーズン終了後）にご記入ください。
- ・ 3 ページ以降の「インフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）」は、別添の「インフルエンザワクチン接種状況リスト（季節性）」の記入の手引きに従って、本シーズン中、季節性インフルエンザワクチンを接種する度にご記入ください。